

操法大会 フォトレポート



消防団員の活動

消防団員は、普段はそれぞれの仕事を持ちながら、「自らの地域は自らが守る」の精神に基づき、火災や災害発生時の出動や火災予防活動など、地域住民の生命や財産を守るために活動しています。

氷川町消防団で、あなたの「地域のために力になりたい」という思いを活かしませんか？興味がある人は、お気軽にお問い合わせください。



消防操法大会

消火活動を行う際、迅速・確実・安全に行動するために、約60 m先の標的に向かって放水する動作の正確さや機敏さを競う大会です。

訓練や大会を通じて消防操法技術の向上を図り、地域の防災体制強化に繋がります。

「このまちを守る」 使命感を胸に



問 総務課 生活安全係 ☎0965-52-7111

大会結果

- 🏆1 第5分団 (迫・笹尾・北川)
- 🏆2 本部分団 (役場)
- 🏆3 第13分団 (西上宮・新村・宮園)

4年ぶりの開催となった今大会。第7回氷川町消防ポンプ操法大会を8月7日、竜北グラウンドで開催しました。

新型コロナウイルスの影響により半数の分団が出場を辞退するなど、例年と異なる状況の中、大会に向けて、各分団の消防団員は、連日夜遅くまで訓練を重ねてきました。

晴れ渡る空の下、各分団の選手が気迫あふれる消防操法を披露するなか、機敏な動きや見事なホースさばきをみせた第5分団が栄冠を勝ち取りました。

優勝した第5分団は、9月4日に玉名市で開催される県大会に八代郡代表として出場します。